

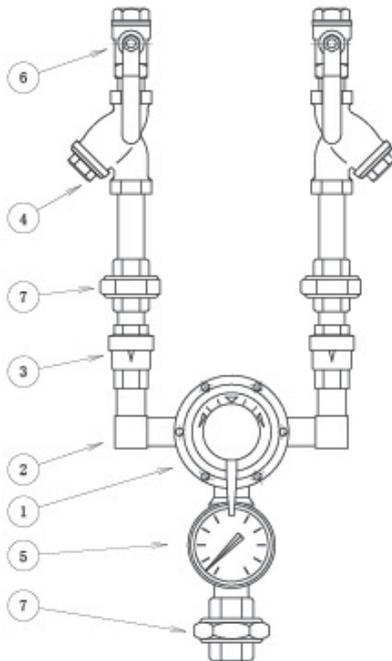
# 適温水補給ユニット LUCY-1S/1 用 取付け並びに取扱い説明書

●取付け前に必ずこの説明書をお読み下さい。

## ① はじめに

適温水補給ユニットは、湯と水を混合して電動弁の開閉で浴槽へ適温水を補給するユニットです。安全に永くご使用頂く為にこの取扱い説明書を読んで正しくご使用下さい。

## ② 各部名称



## ③ 仕様

- 最高使用圧力・・・0.4MPa
- 最低使用圧力・・・0.02MPa
- 最大差圧比・・・3:1  
(給湯、給水どちらが3でも可)



## 注意事項

- 適温水補給ユニットから複数の自動弁を介して浴槽へ補給する場合や手動補給する場合、又は、シャワーやカランの元制御としてのご使用は出来ません。別途ご相談して下さい。
- 水道水または飲み水可能な井戸水をご使用下さい。温泉水はご使用になれません。

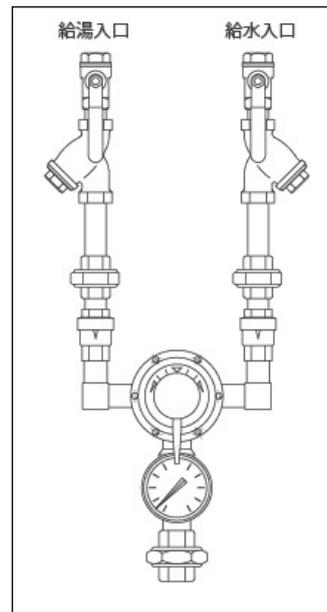
⑦	ユニオン
⑥	ボール弁
⑤	温度計
④	ストレーナー
③	逆止弁
②	入口継手
①	RADA ミキシングバルブ
符号	名称

## ④ 取付け

- 1) 調整や点検が容易にできる位置に取付け下さい。

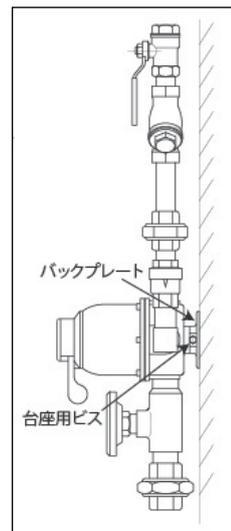
経年時の破損等による漏水発生に備えて、漏水事故で損害発生が予測されるような場所への設置はお避け下さい。

- 2) 給湯入口と冷水入口を確認して下さい。標準は向かって左が給湯、右が給水です。給湯・給水の入口を逆に接続する場合はご注文時にその旨申し出下さい。又、納入後、何らかの理由で接続を逆にする場合は、メーカーにご連絡下さい。



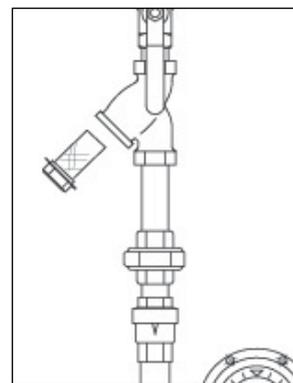
- 2) 適温水補給ユニットを取り付ける場所は壁面に対し垂直に取付けて下さい

- 3) ミキシングバルブ台座用ビスを緩めバックプレートを取外して壁面に固定して下さい。



- 4) 適温水補給ユニットと供給配管を無理に接続すると漏れの原因になります。フレキ等を用いて無理のかからないようにして下さい。

- 5) 据え付けが完了しましたらストレーナーのプラグを外し、フラッシングして下さい。

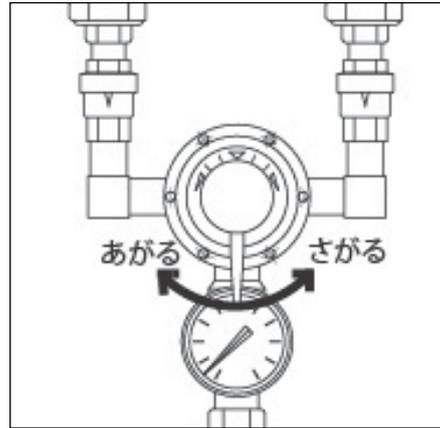


## ⑤ 操作

- 1) 給湯・給水の元バルブが「開」になっていることを確認して下さい。  
電動弁を「開」にして下さい。  
給湯・給水がミキシングバルブに流入し混合が始まり、温水が吐出します。

- 2) 温度計を見ながらミキシングバルブの中央の温調ノブで必要な温度に設定して下さい。

温調ノブは、時計方向に動かすと温度が上がります。反時計方向に回すと温度が下がります。



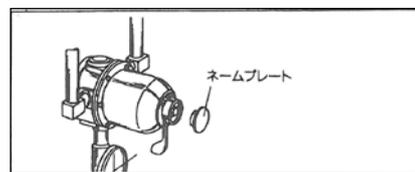
## ⑥ 最高温度設定

適温水補給ユニットは、工場出荷時に最高温度が約45℃にセットされています。もっと高い温度を必要とされている場合は、次の要領で設定をやり直して下さい。

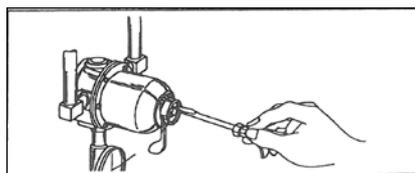
尚、作業は、温水を出しながら行って下さい。

最高温度が約45℃より大幅に高かったり低かったりする場合は、供給条件が使用範囲に入っていない場合がありますので再確認して下さい。

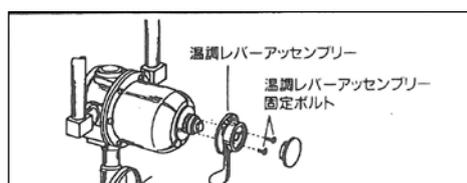
- 1) ネームプレートを外して下さい。



- 2) 温調レバーアッセンブリ固定ボルト2本を外して下さい。

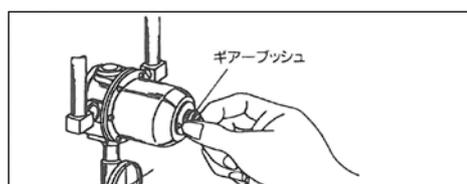


3) 温調レバーアッセンブリーを外して下さい。

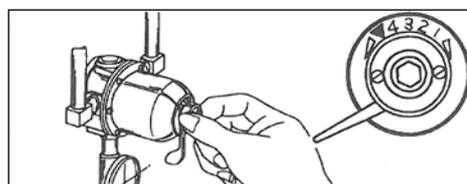


4) 温度計を見ながらギヤブッシュを回して最高温度として適当と思われる温度にセットして下さい。

時計方向に回せば温度が上がり、反時計に回せば温度が下がります。

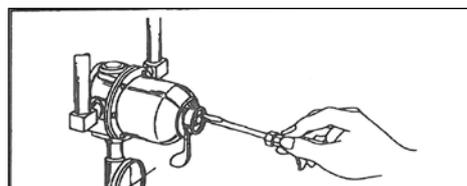


5) 温調レバーを目盛5の位置に合わせた状態で元通りカバーに取付けて下さい。

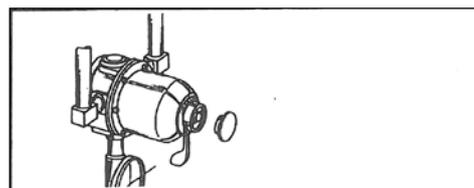


6) 温調レバーアッセンブリー固定ボルト2本を均等に締めて下さい。

但し締めすぎないように注意して下さい。



7) ネームプレートを元通りに取付けて下さい。



## ⑦ メンテナンス

適温水補給ユニットは経年によって機能が劣化します。機能劣化が認められたら放置せずにメンテナンスをして下さい。

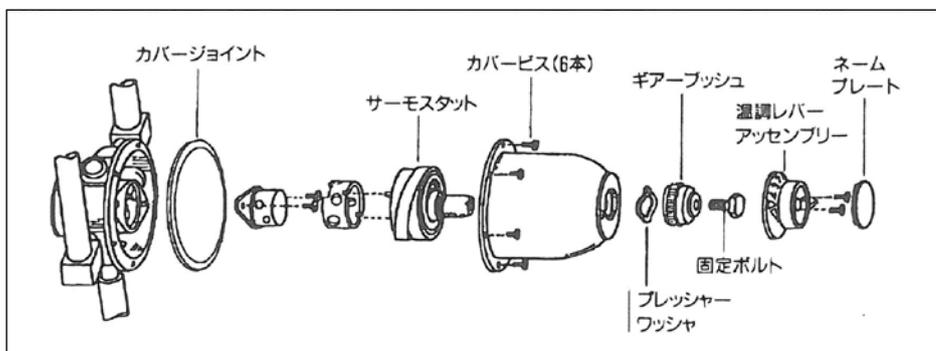
使用頻度、使用温度、使用圧力、水質等によってメンテナンスの頻度は変わりますが、パーツ交換で簡単に新品の機能を回復することが出来ます。

ユニットを設置した後も次の点に注意して下さい。

- 1、 温調ノブ/ハンドル部から漏れはないか。
- 2、 温水の流量が少なくなって来ていないか。
- 3、 温水温度は不安定になっていないか。
- 4、 温度調整が出来なくなっていないか。

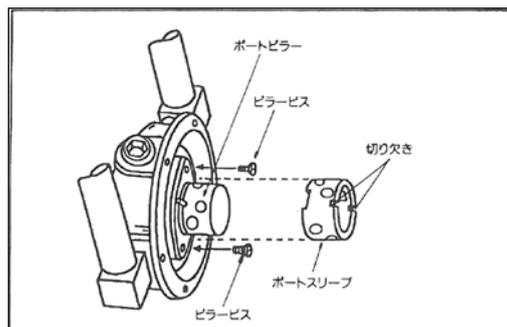
### ● ⑦-1 ミキシングバルブ

ミキシングバルブは、ポートピラー、ポートスリーブ並びにサーモスタットアッセンブリー（3点セット）を取り替えることによって、新品の機能を回復する事が出来ます。



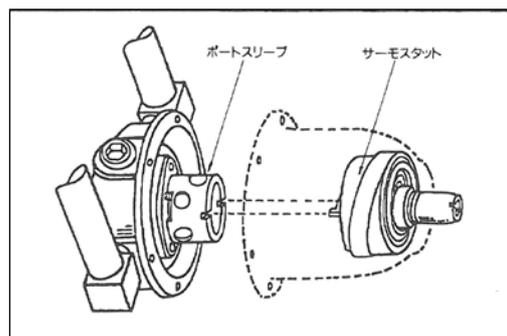
- 1) ネームプレート、ギャーブッシュ固定ボルト  
温調レバーアッセンブリー、固定ボルトを外し  
温調レバーアッセンブリー、ギャーブッシュ  
プレッシュャーワッシャを外して下さい。
- 2) カバービス6本を外し、カバー部をバルブ  
ボディーから外して下さい。

- 3) サーモスタット・アッセンブリーがカバーと一緒に外れますので、プラスチックハンマー等で軽くスピンドル部をたたいてサーモスタットをカバーから抜き、新しい物と交換して下さい。  
この際、カバージョイントを新しい物と取り替えて下さい。



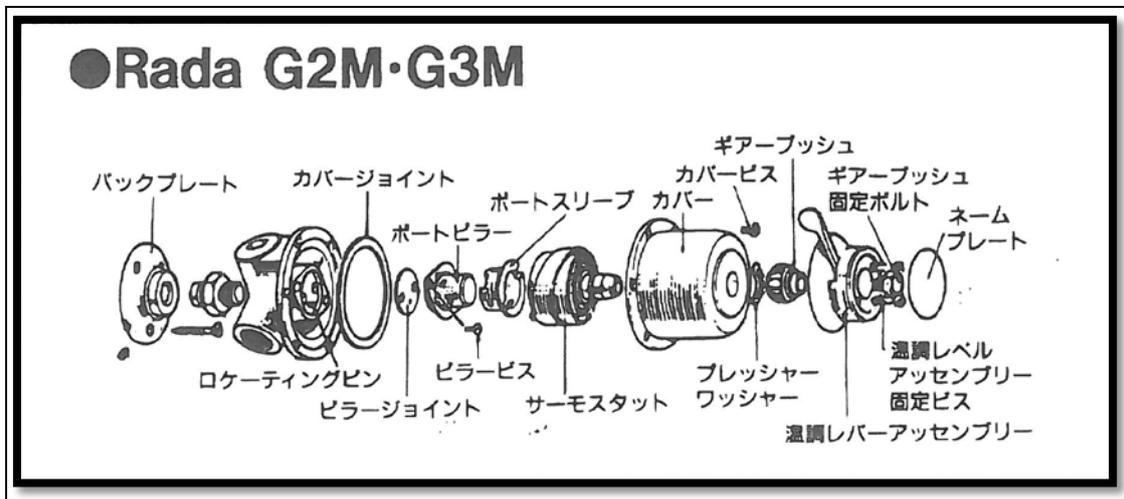
- 4) ポートスリーブを外し、2本のピラービスを外してポートピラーを外して下さい。  
その際、ピラージョイントを新しい物と取り替えて下さい。  
新しいポートピラーを2本のピラービスでボディーに固定して下さい。  
その際、ビスが片締めにならない様に均等に締めて下さい。

- 5) 新しいポートスリーブをポートピラーにはめて下さい。この時ポートスリーブの切り欠き部分の長い方をボディー側に、切り欠きが2か所ある方をカバー側にして下さい。  
カバーをかぶせる時、サーモスタット・アッセンブリーの2つのツメがポートスリーブの2か所の切り欠きにはまる様に取り付けて下さい。



- 6) 温水を流しながら必要温度が得られるように「最高温度設定」の方法で温度設定を行ってください。

## ⑧ 部品表



# 適温水補給ユニット

## LUCY-2 用

### 取付け並びに取扱い説明書

●取付け前に必ずこの説明書をお読み下さい。

### ① はじめに

適温補給水ユニットとは、湯と水を混合して電動弁の開閉で浴槽へ適温水を補給するユニットです。  
安全に永くご使用いただく為にこの取扱い説明書を読んで正しくご使用ください。

### ③ 仕様

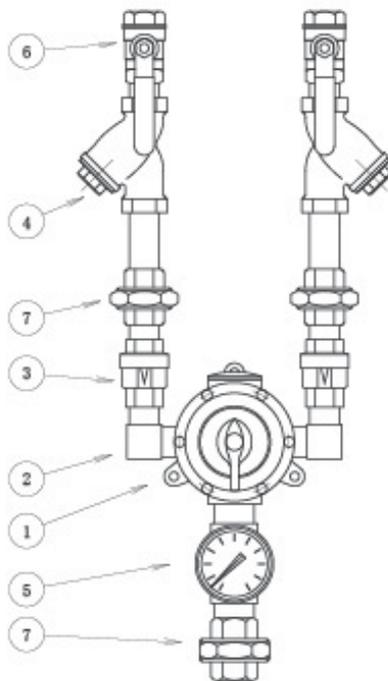
- 最高使用圧力・・・0.4MPa
- 最低使用圧力・・・0.02MPa
- 最大差圧比・・・3:1  
(給湯、給水どちらが3でも可)



### 注意事項

- 適温水補給ユニットから複数の自動弁を介して浴槽へ補給する場合や手動補給する場合、又はシャワーやカランの元制御としてのご使用は出来ません。  
別途ご相談して下さい。
- 水道水または飲み水可能な井戸水をご使用下さい。  
温泉水はご使用になれません。

### ② 各部名称



⑦	ユニオン
⑥	ボール弁
⑤	温度計
④	ストレーナー
③	逆止弁
②	入口継手
①	RADA ミキシングバルブ
符号	名称

## ④ 取付け

- 1) 調整や点検が容易にできる位置に取付け下さい。

経年時や破損等による漏水発生に備えて、漏水事故で損害発生が予測される場所への設置はお避け下さい。

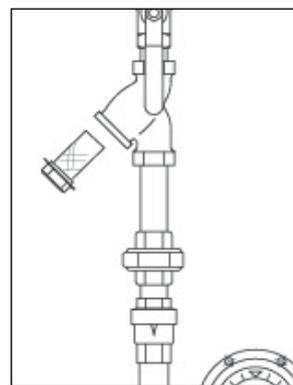
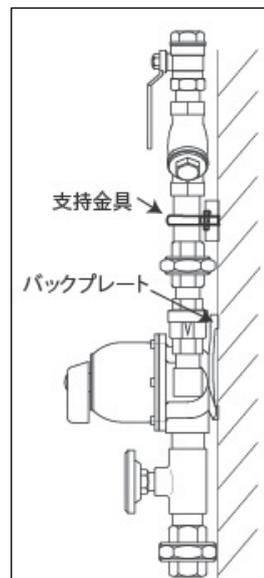
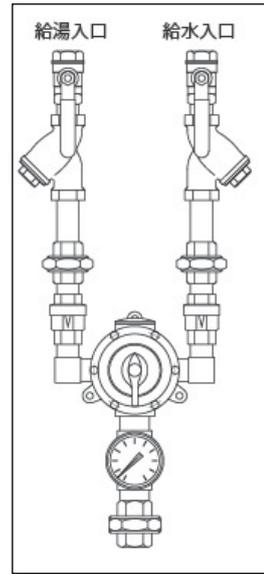
- 2) 給湯入口と冷水入口を確認して下さい。標準は向かって左が給湯、右が給水です。給湯・給水の入口を逆に接続する場合はご注文時にその旨申し出下さい。又、納入後、何らかの理由で接続を逆にする場合は、メーカーにご連絡下さい。

- 3) 適温水補給ユニットを取り付ける場所は壁面に対し垂直に取付けて下さい

- 4) ミキシングバルブのバックプレートを固定し配管を支持金具等で固定して下さい。

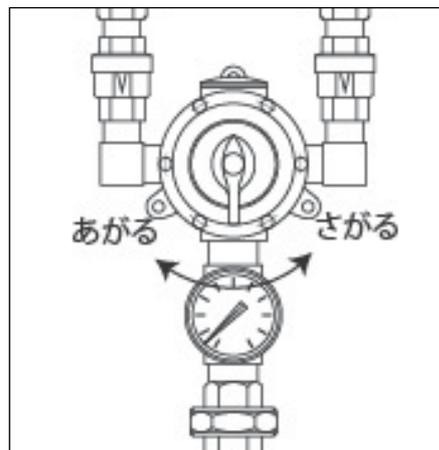
- 5) 適温水補給ユニットと供給配管を無理に接続すると漏れの原因になります。フレキシ等を用いて無理のかからないようにして下さい。

- 6) 据え付けが完了しましたらストレーナーのプラグを外し、フラッシングして下さい。



## ⑤ 操作

- 1) 給湯・給水の元バルブが「開」になっていることを確認して下さい。  
電動弁を「開」にして下さい。  
給湯・給水がミキシングバルブに流入し混合が始まり、温水が吐出します。
- 2) 温度計を見ながらミキシングバルブの中央の温調ノブで必要な温度に設定して下さい。  
温調ノブは、時計方向に動かすと温度が上がり反時計方向に回すと温度が下がります。



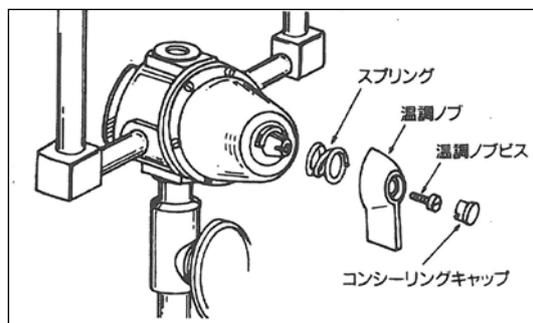
## ⑥ 最高温度設定

適温水補給ユニットは、工場出荷時に最高温度が約45℃にセットされています。もっと高い温度を必要とされている場合は、次の要領で設定をやり直して下さい。

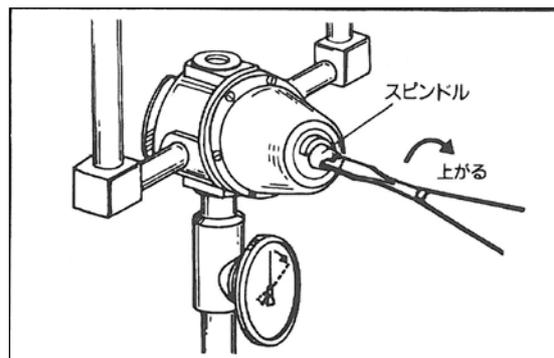
尚、作業は、温水を出しながら行って下さい。

最高温度が約45℃より大幅に高かったり低かったりする場合は、供給条件が使用範囲に入っていない場合がありますので再確認して下さい。

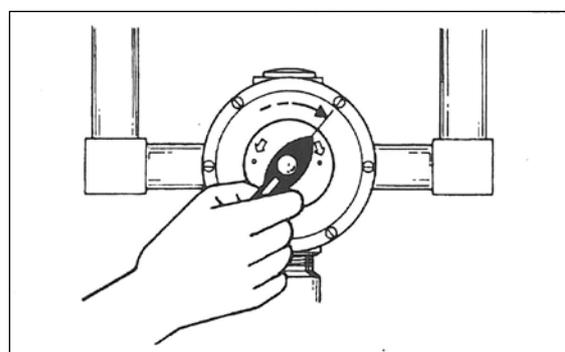
- 1) コンシーリングキャップ、温調ノブビスをゆるめ、温調ノブ並びにスプリングを外して下さい。



- 2) 見えてきたスピンドルの先端にドライバーをはめ込み、温度計を見ながら少しずつ時計方向に回して下さい。  
温水温度が上昇して行きます。



- 3) 希望する温度になれば、元のように組み立てて下さい。  
設定した温度以上の温度にならないよう「最高温度設定」する場合は、カバーの突起にノブ裏側のでっぱりに当たりそれ以上時計方向に回らない位置でノブをセットして下さい。



## ⑦ メンテナンス

適温水補給ユニットは経年によって機能が劣化します。機能劣化が認められたら放置せずにメンテナンスをして下さい。

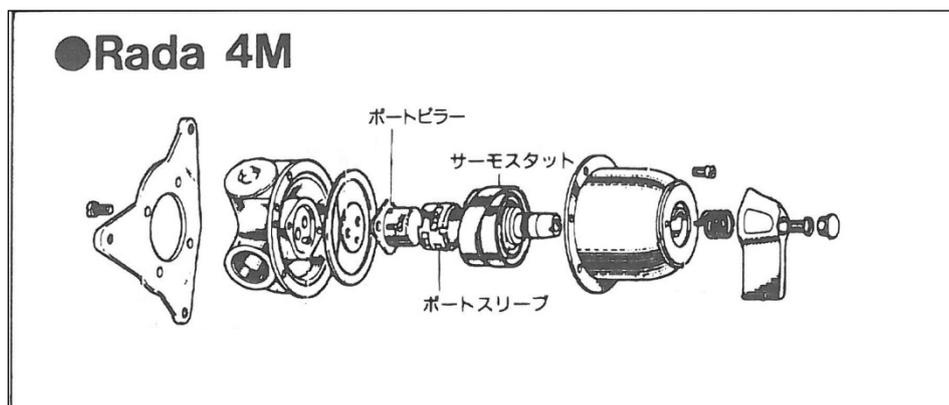
使用頻度、使用温度、使用圧力、水質等によってメンテナンスの頻度は変わりますが、パーツ交換で簡単に新品の機能を回復することが出来ます。

ユニットを設置した後も次の点に注意して下さい。

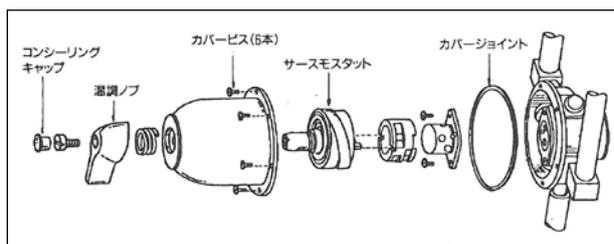
- 1、温調ノブ/ハンドル部から漏れはないか。
- 2、温水の流量が少なくなって来ていないか。
- 3、温水温度は不安定になっていないか。
- 4、温度調整が出来なくなっていないか。

### ● ⑦-1 ミキシングバルブ

ミキシングバルブは、ポートスリーブ、ポートピラー並びにサーモスタットアッセンブリー（3点セット）を取り替えることによって、新品の機能を回復する事が出来ます。

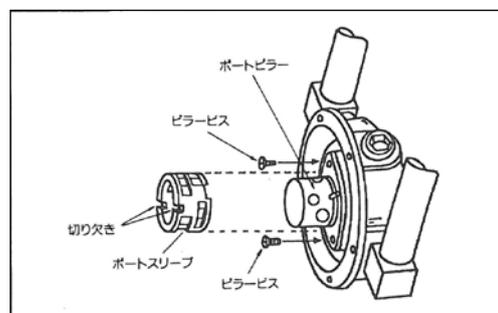


- 1) コンシーリングキャップ、温調ノブを外し、カバービス6本をゆるめ、カバー部をミキシングバルブボディーから外して下さい。

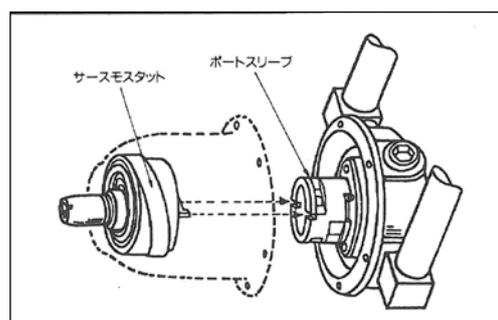


- 2) サーマスタット・アッセンブリーがカバーと一緒に外れますので、プラスチックハンマー等で軽くスピンドル部をたたいてサーモスタットをカバーから抜き取り新しい物と交換して下さい。その際、カバージョイントを新しい物と取り替えて下さい。

- 3) ポートスリーブを外し、ポートピラーを2本のピラービスをゆるめて外して下さい。その際、ピラージョイントを新しい物と取り替えて下さい。新しいポートピラーを2本のピラービスでボディーに取り付けて下さい。その際、ビスが片締めにならない様に均等に締めて下さい。



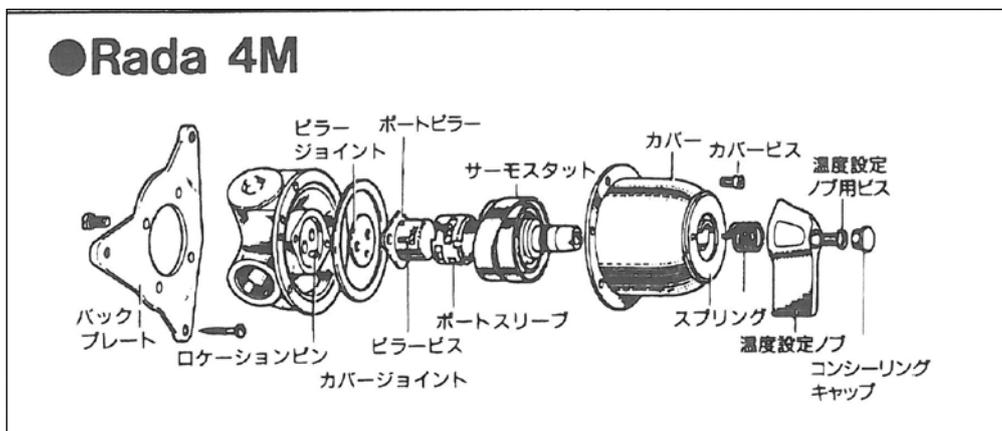
- 4) 新しいポートスリーブをポートピラーにはめて下さい。この時、ポートスリーブの切り欠き部分が長い方をボディー側に、切り欠きが2か所ある方をカバー側にして下さい。



- 5) カバーを取り付ける時は、サーモスタット・アッセンブリーの2か所のツメがポートスリーブの2か所の切り欠きにはまる様に組み立てて下さい。

- 13) 温水を流しながら必要温度が得られるよう「最高温度設定方法」の要領で温度設定を行って下さい。

## ⑧ 部品表



# 適温水補給ユニット

## LUCY-3 用

### 取付け並びに取扱い説明書

●取付け前に必ずこの説明書をお読み下さい。

## ① はじめに

適温補給水ユニットとは、湯と水を混合して電動弁の開閉で浴槽へ適温水を補給するユニットです。  
安全に永くご使用いただく為にこの取扱い説明書を読んで正しくご使用ください。

## ③ 仕様

- 最高使用圧力・・・0.4MPa
- 最低使用圧力・・・0.02MPa
- 最大差圧比・・・3:1  
(給湯、給水どちらが3でも可)



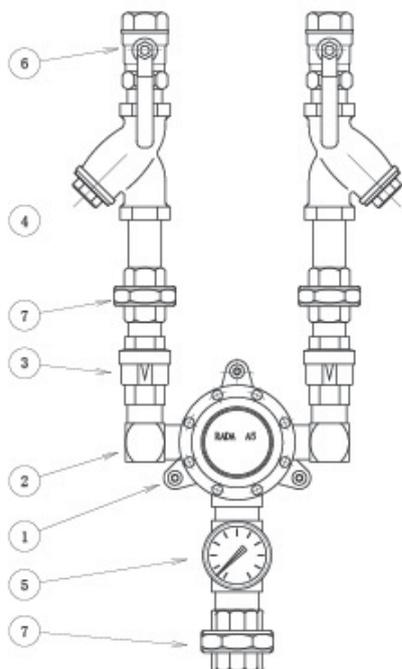
## 注意事項

適温水補給ユニットから複数の自動弁を介して浴槽へ補給する場合や手動補給する場合、又はシャワーやカランの元制御としてのご使用は出来ません。

別途ご相談して下さい。

- 水道水または飲み水可能な井戸水をご使用下さい。  
温泉水はご使用になれません。

## ② 各部名称



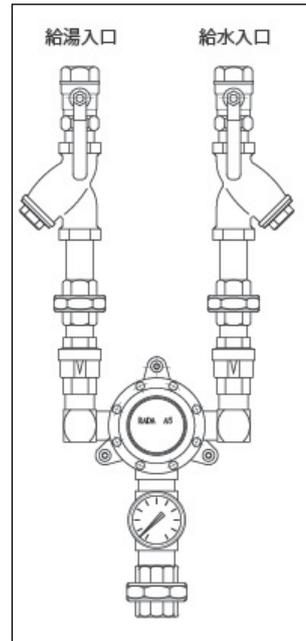
⑦	ユニオン
⑥	ボール弁
⑤	温度計
④	ストレーナー
③	逆止弁
②	入口継手
①	RADA ミキシングバルブ
符号	名称

## ④ 取付け

- 1) 調整や点検が容易にできる位置に取付け下さい。

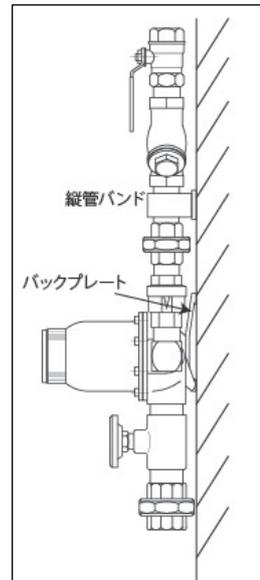
経年時や破損等による漏水発生に備えて、漏水事故で損害発生が予測される場所への設置はお避け下さい。

- 2) 給湯入口と冷水入口を確認して下さい。標準は向かって左が給湯、右が給水です。給湯・給水の入口を逆に接続する場合はご注文時にその旨申し出下さい。又、納入後、何らかの理由で接続を逆にする場合は、メーカーにご連絡下さい。



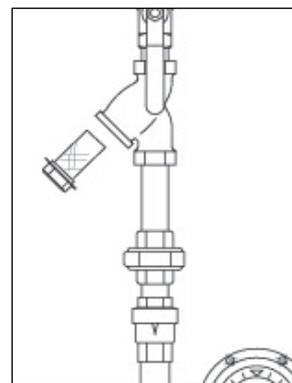
- 3) 適温水補給ユニットを取り付ける場所は壁面に対し垂直に取付けて下さい

- 4) ミキシングバルブのバックプレートを壁面に固定し、配管に支持を行ってください。



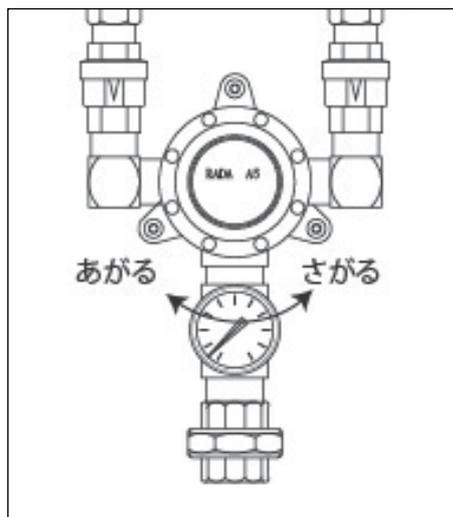
- 5) 適温水補給ユニットと供給配管を無理に接続すると漏れの原因になります。フレキ等を用いて無理のかからないようにして下さい。

- 6) 据え付けが完了しましたらストレーナーのプラグを外し、フラッシングして下さい。



## ⑤ 操作

- 1) 給湯・給水の元バルブが「開」になっていることを確認して下さい。  
電動弁を「開」にして下さい。  
給湯・給水がミキシングバルブに流入し混合が始まり、温水が吐出します。
- 2) 温度計を見ながらミキシングバルブの中央の温調ノブで必要な温度に設定して下さい。  
温調ノブは、時計方向に動かすと温度が上がり反時計方向に回すと温度が下がります。



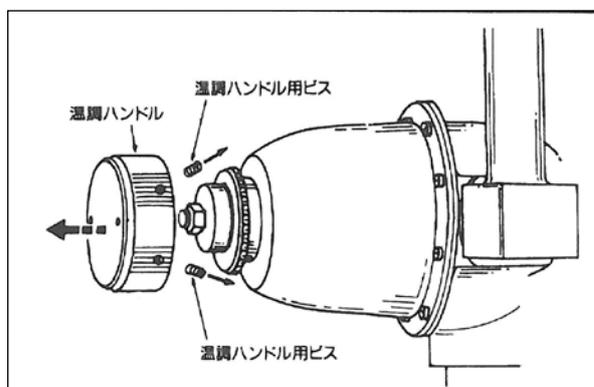
## ⑥ 最高温度設定

適温水補給ユニットは、工場出荷時に最高温度が約45℃にセットされています。もっと高い温度を必要とされている場合は、次の要領で設定をやり直して下さい。

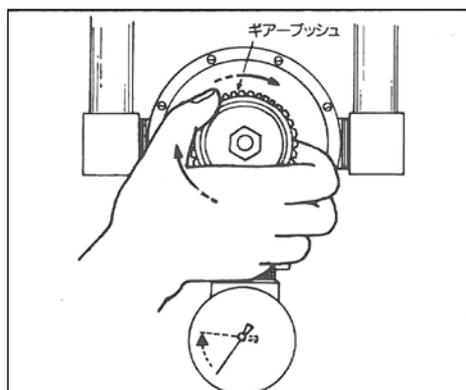
尚、作業は、温水を出しながら行って下さい。

最高温度が約45℃より大幅に高かったり低かったりする場合は、供給条件が使用範囲に入っていない場合がありますので再確認して下さい。

- 1) 2本の温調ハンドル用ビスをゆるめ、  
温調ハンドルを手前に引き抜いて下さい。

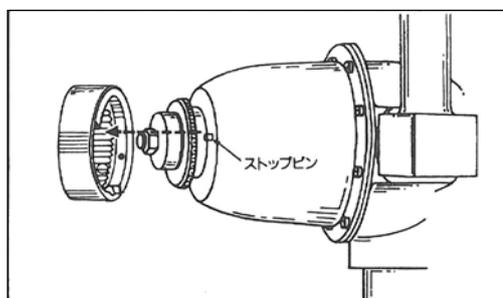


- 2) 見えてきたギアブッシュを手で少しづつ時計方向に回して下さい。温水温度が上昇して行きます。



- 3) 希望する温度になれば元のように組み立てて下さい。

「最高温度の設定」は温調ハンドル裏側の凹み部分がカバーのストップピンに当たり、それ以上時計方向に回らない位置で温調ハンドルをセットして下さい。



## ⑦ メンテナンス

適温水補給ユニットは経年によって機能が劣化します。機能劣化が認められたら放置せずにメンテナンスをして下さい。

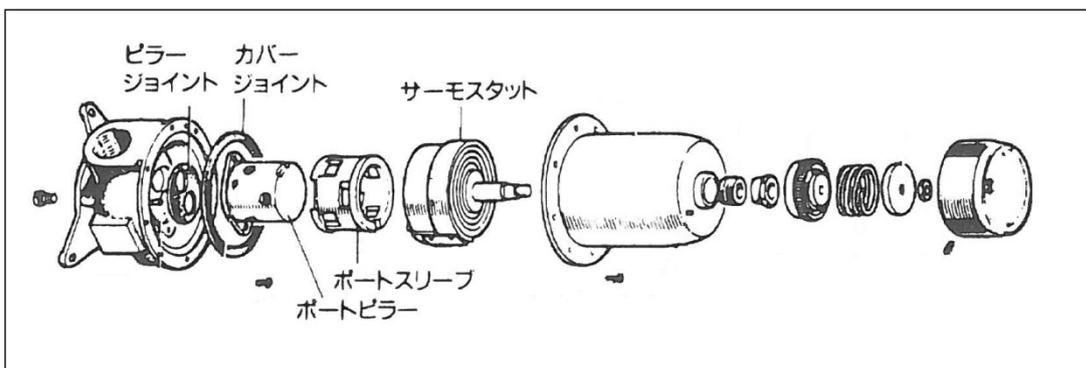
使用頻度、使用温度、使用圧力、水質等によってメンテナンスの頻度は変わりますが、パーツ交換で簡単に新品の機能を回復することができます。

ユニットを設置した後も次の点に注意して下さい。

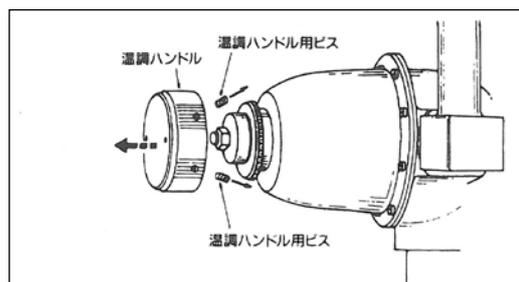
- 1、温調ノブ/ハンドル部から漏れはないか。
- 2、温水の流量が少なくなって来ていないか。
- 3、温水温度は不安定になっていないか。
- 4、温度調整が出来なくなっていないか。

### ● ⑦-1 ミキシングバルブ

ミキシングバルブは、ポートピラー、ポートスリーブ並びにサーモスタットアッセンブリー（3点セット）を取り替えることによって、新品の機能を回復する事が出来ます。



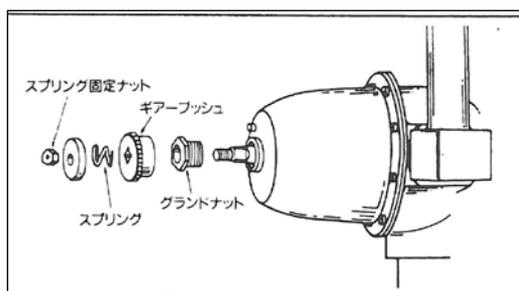
- 1) 温調ハンドル用ビス (2本) をゆるめ、  
温調ハンドルを手前に引き抜いて下さい。



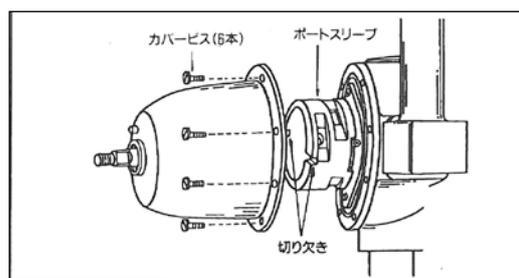
- 2) 見えてきたスプリング固定ナットをスパナで外して下さい。

- 3) ギヤーブッシュを手前に引き抜いて下さい。

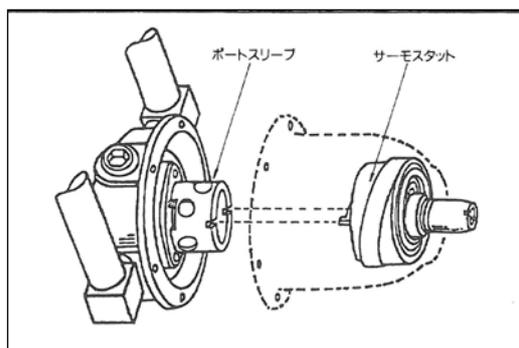
- 4) グランドナットをスパナで外して下さい。



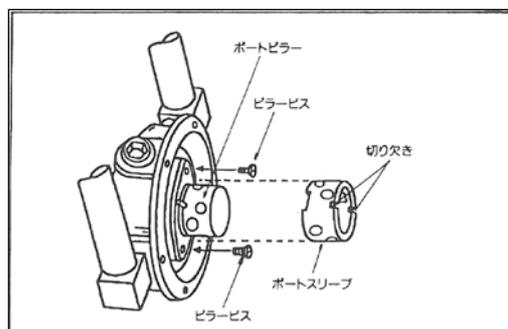
- 5) カバービス6本を外し、カバー部をボディから外して下さい。



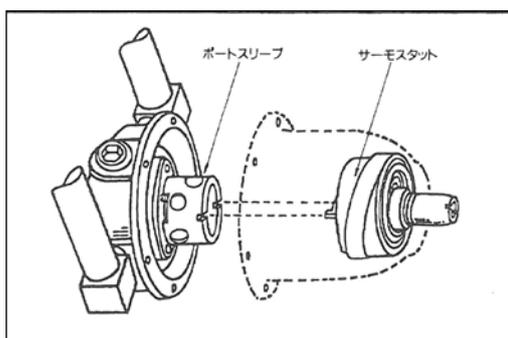
- 6) サーモスタット・アセンブリーがカバーと一緒に外れますので、プラスチックハンマー等で軽くスピンドル部をたたいてサーモスタットをカバーから抜き、新しい物と交換して下さい。  
この際、カバージョイントとクランドパッキンを新しい物と取り替えて下さい。



- 7) ポートスリーブを外し、2本のピラービスを外してポートピラーを外して下さい。その際、ピラージョイントを新しい物と取り替えて下さい。新しいポートピラーを2本のピラービスでボディに固定して下さい。その際、ビスが片締めにならない様に均等に締めて下さい。

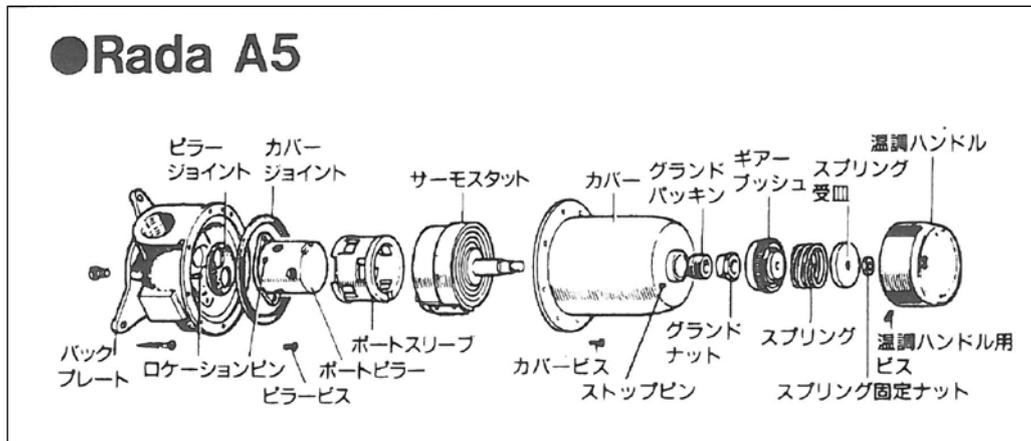


- 8) 新しいポートスリーブをポートピラーにはめて下さい。この時ポートスリーブの切り欠き部分の長い方をボディ側に、切り欠きの幅が狭い方をカバー側にして下さい。カバーをかぶせる時、サーモスタット・アセンブリーのツメがポートスリーブの切り欠きにはまる様に取り付けて下さい。



- 9) 温水を流しながら必要温度が得られるように「最高温度設定」の方法で温度設定を行ってください。

## ⑧ 部品表



# 適温水補給ユニット

## LUCY-4 用

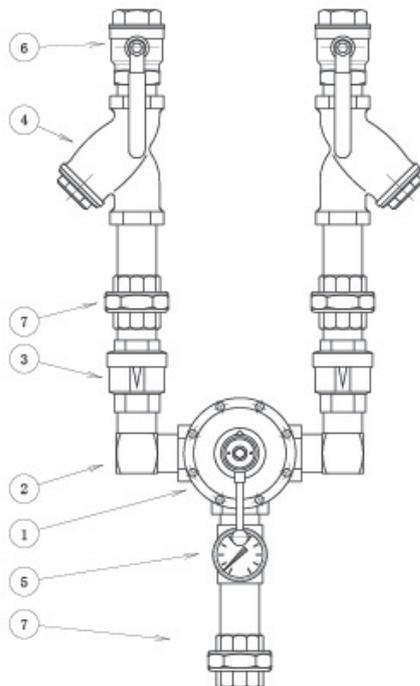
### 取付け並びに取扱い説明書

●取付け前に必ずこの説明書をお読み下さい。

### ① はじめに

適温補給水ユニットとは、湯と水を混合して電動弁の開閉で浴槽へ適温水を補給するユニットです。  
安全に永くご使用いただく為にこの取扱い説明書を読んで正しくご使用ください。

### ② 各部名称



### ③ 仕様

- 最高使用圧力・・・0.4MPa
- 最低使用圧力・・・0.02MPa
- 最大差圧比・・・3:1  
(給湯、給水どちらが3でも可)



### 注意事項

- 適温水補給ユニットから複数の自動弁を介して浴槽へ補給する場合や手動補給する場合、又はシャワーやカランの元制御としてのご使用は出来ません。  
別途ご相談して下さい。
- 水道水または飲み水可能な井戸水をご使用下さい。  
温泉水はご使用になれません。

⑦	ユニオン
⑥	ボール弁
⑤	温度計
④	ストレーナー
③	逆止弁
②	入口継手
①	RADA ミキシングバルブ
符号	名称

## ④ 取付け

- 1) 調整や点検が容易にできる位置に取付け下さい。

経年時や破損等による漏水発生に備えて、漏水事故で損害発生が予測される場所への設置はお避け下さい。

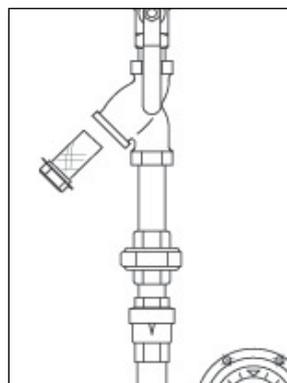
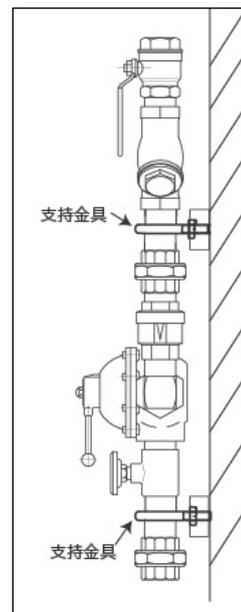
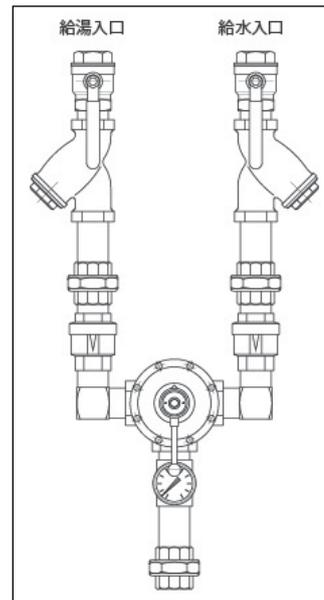
- 2) 給湯入口と冷水入口を確認して下さい。標準は向かって左が給湯、右が給水です。給湯・給水の入口を逆に接続する場合はご注文時にその旨申し出下さい。又、納入後、何らかの理由で接続を逆にする場合は、メーカーにご連絡下さい。

- 3) 適温水補給ユニットを取り付ける場所は壁面に対し垂直に取付けて下さい

- 4) ミキシングバルブユニットを支持金具等で固定して下さい。

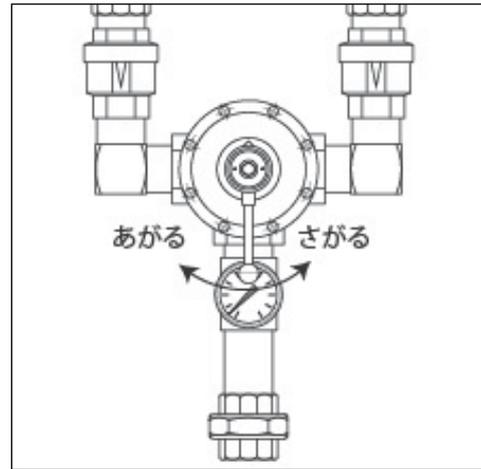
- 5) 適温水補給ユニットと供給配管を無理に接続すると漏れの原因になります。フレキシ等を用いて無理のかからないようにして下さい。

- 6) 据え付けが完了しましたらストレーナーのプラグを外し、フラッシングして下さい。



## ⑤ 操作

- 1) 給湯・給水の元バルブが「開」になっていることを確認して下さい。  
電動弁を「開」にして下さい。  
給湯・給水がミキシングバルブに流入し混合が始まり、温水が吐出します。
- 2) 温度計を見ながらミキシングバルブの中央の温調ノブで必要な温度に設定して下さい。  
温調ノブは、時計方向に動かすと温度が上がり反時計方向に回すと温度が下がります。



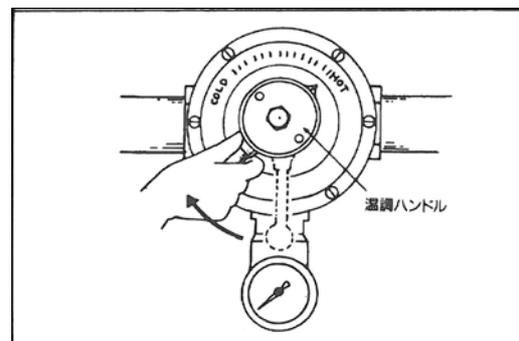
## ⑥ 最高温度設定

適温水補給ユニットは、工場出荷時に最高温度が約45℃にセットされています。もっと高い温度を必要とされている場合は、次の要領で設定をやり直して下さい。

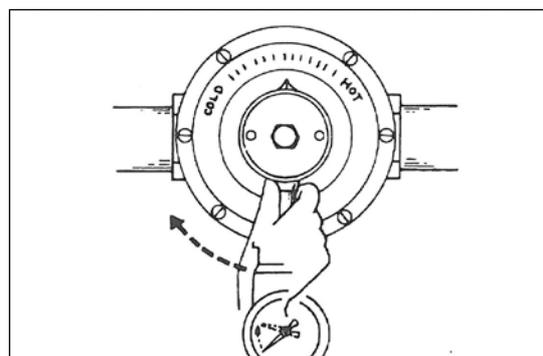
尚、作業は、温水を出しながら行って下さい。

最高温度が約45℃より大幅に高かったり低かったりする場合は、供給条件が使用範囲に入っていない場合がありますので再確認して下さい。

- 1) 温調ハンドルを時計方向いっぱいに戻し  
そのままの位置で円錐ナットをゆるめ、  
温調ハンドルとスプリングを外して下さい。

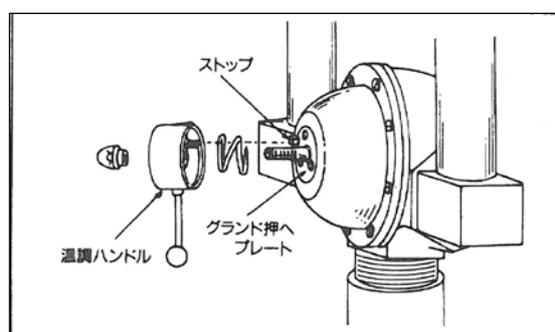


- 2) 温調ハンドルだけ（スプリングなし）を中央（12時）の位置でスピンドルに差込円錐ナットで固定し、温調ハンドルを時計方向に少しづつ回して下さい。吐出温度が上昇してゆきます。



- 3) 希望する温度になれば、ハンドルが動かないよう温調ハンドルを手で固定して円錐ナットをゆるめ、ハンドルを外して下さい。スプリングを元の通りに入れて温調ハンドルを差し込み、円錐ナットを締め付けて下さい。

「最高温度の設定」は、温調ハンドルを取付ける際、温調ハンドル裏側の凹み部分がグランド押えプレートのストッパーに当たってそれ以上時計方向に回らない位置でセットして下さい。



## ⑦ メンテナンス

適温水補給ユニットは経年によって機能が劣化します。機能劣化が認められたら放置せずにメンテナンスをして下さい。

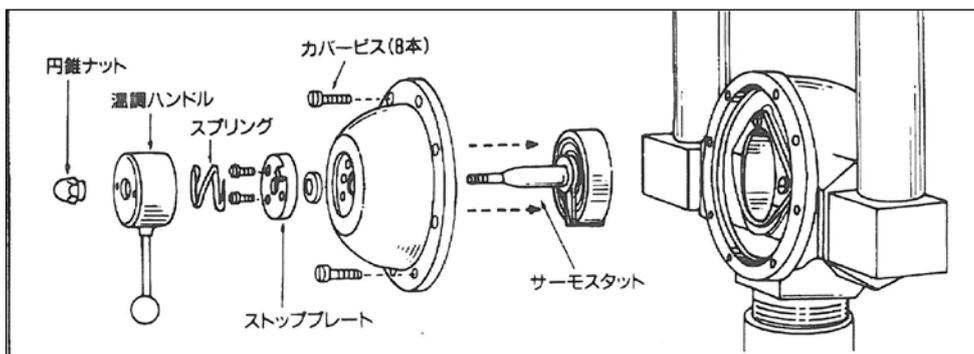
使用頻度、使用温度、使用圧力、水質等によってメンテナンスの頻度は変わりますが、パーツ交換で簡単に新品の機能を回復することができます。

ユニットを設置した後も次の点に注意して下さい。

- 1、 温調ノブ/ハンドル部から漏れはないか。
- 2、 温水の流量が少なくなって来ていないか。
- 3、 温水温度は不安定になっていないか。
- 4、 温度調整が出来なくなっていないか。

### ● ⑦-1 ミキシングバルブ

ミキシングバルブは、スリーブ、ライナーアッセンブリー並びにサーモスタットアッセンブリー（3点セット）を取り替えることによって、新品の機能を回復する事が出来ます。

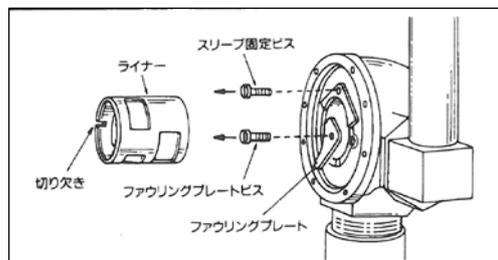


- 1) 円錐ナットをゆるめ、スプリング、温調ハンドルを外して下さい。
- 2) ストッププレートを外して下さい
- 3) カバービス 8本をゆるめ、カバー部をボディーから外して下さい。

- 4) サーモスタット・アッセンブリーをカバーから抜き取って新しい物と交換してください。  
その際スピンドルシールを新しい物と交換して下さい。

- 5) ライナーを抜き取って下さい。

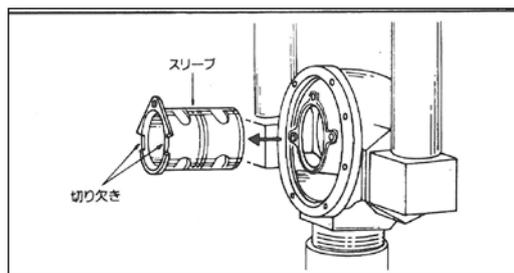
- 6) スリーブ固定ビスを外して下さい。



- 7) ファウリングプレートビスをゆるめ、  
ファウリングプレートを外して下さい  
この時、ファウリングプレートの取付  
てあった位置を確認しておいて下さい。

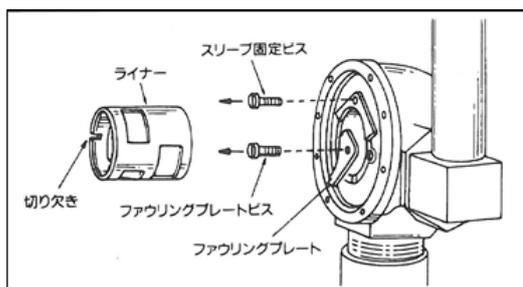
- 8) スリーブを引き抜いて下さい。

- 9) 新しいスリーブをボディーに挿入し、  
スリーブ固定ビスを取付けて下さい。  
その際、Oリングに軽くシリコングリス  
を塗って下さい。



- 10) ファウリングプレートを元の位置に取  
り付けて下さい。

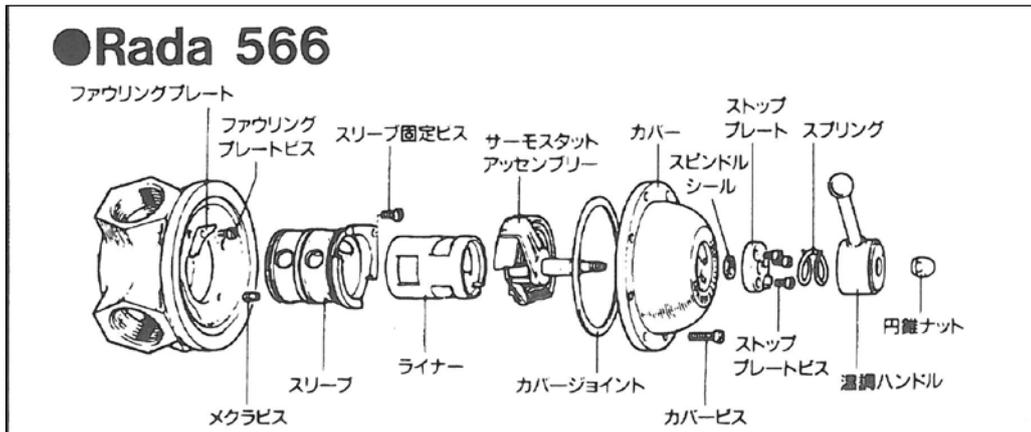
- 11) ライナーを切り欠きのある方をカバー側  
にして挿入して下さい。



- 12) サーモスタット・アッセンブリーのツメ  
がライナーの切り欠きにはまる様に組み立  
て  
て下さい。

- 13) 温水を流しながら必要温度が得られるよう  
「最高温度設定方法」の要領で温度設定を行っ  
て下さい。

## ⑧ 部品表



# 適温水補給ユニット

## LUCY-5 用

### 取付け並びに取扱い説明書

●取付け前に必ずこの説明書をお読み下さい。

### ① はじめに

適温水補給ユニットとは、湯と水を混合して電動弁の開閉で浴槽へ適温水を補給するユニットです。  
安全に永くご使用いただく為にこの取扱い説明書を読んで正しくご使用ください。

### ③ 仕様

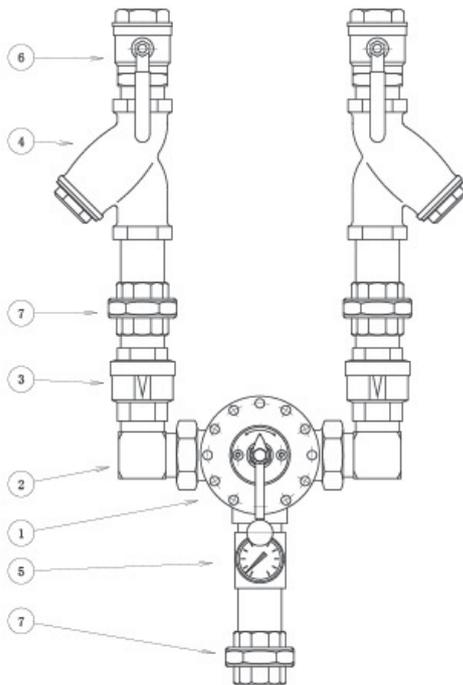
- 最高使用圧力・・・0.4MPa
- 最低使用圧力・・・0.02MPa
- 最大差圧比・・・3:1  
(給湯、給水どちらが3でも可)



### 注意事項

- 適温水補給ユニットから複数の自動弁を介して浴槽へ補給する場合や手動補給する場合、又はシャワーやカランの元制御としてのご使用は出来ません。  
別途ご相談して下さい。
- 水道水または飲み水可能な井戸水をご使用下さい。  
温泉水はご使用になれません。

### ② 各部名称



⑦	ユニオン
⑥	ボール弁
⑤	温度計
④	ストレーナー
③	逆止弁
②	入口継手
①	RADA ミキシングバルブ
符号	名称

## ④ 取付け

- 1) 調整や点検が容易にできる位置に取付け下さい。

経年時や破損等による漏水発生に備えて、漏水事故で損害発生が予測される場所への設置はお避け下さい。

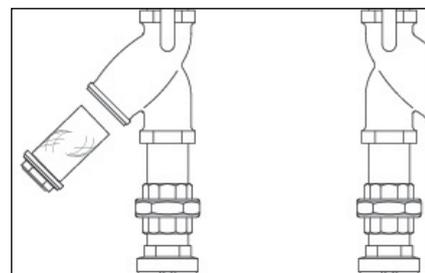
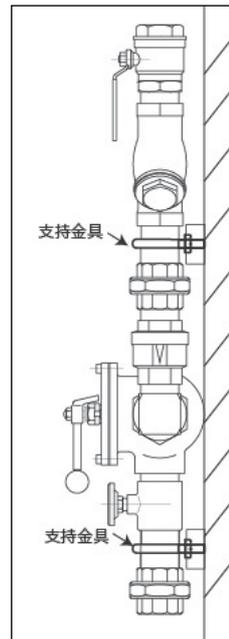
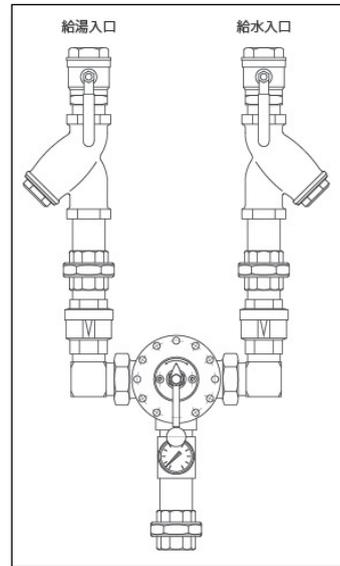
- 2) 給湯入口と冷水入口を確認して下さい。標準は向かって左が給湯、右が給水です。給湯・給水の入口を逆に接続する場合はご注文時にその旨申し出下さい。又、納入後、何らかの理由で接続を逆にする場合は、メーカーにご連絡下さい。

- 3) 適温水補給ユニットを取り付ける場所は壁面に対し垂直に取付けて下さい

- 4) ミキシングバルブユニットを支持金具等で固定して下さい。

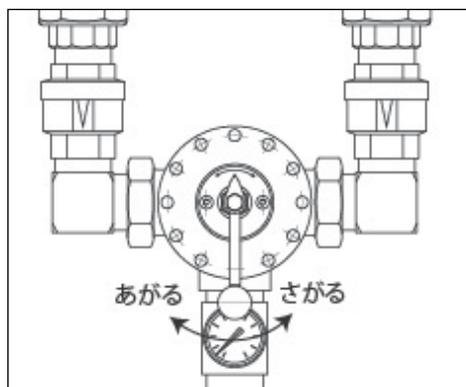
- 5) 適温水補給ユニットと供給配管を無理に接続すると漏れの原因になります。フレキ等を用いて無理のかからないようにして下さい。

- 6) 据え付けが完了しましたらストレーナーのプラグを外し、フラッシングして下さい。



## ⑤ 操作

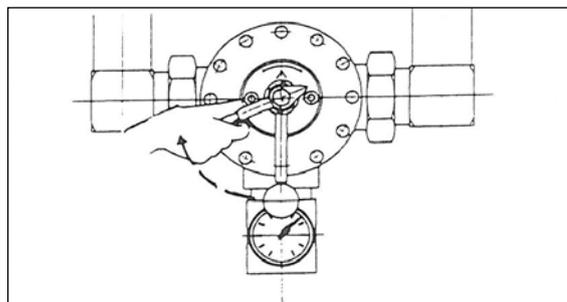
- 1) 給湯・給水の元バルブが「開」になっていることを確認して下さい。  
電動弁を「開」にして下さい。  
給湯・給水がミキシングバルブに流入し混合が始まり、温水が吐出します。
- 2) 温度計を見ながらミキシングバルブの中央の温調ノブで必要な温度に設定して下さい。  
温調ノブは、時計方向に動かすと温度が上がり反時計方向に回すと温度が下がります。



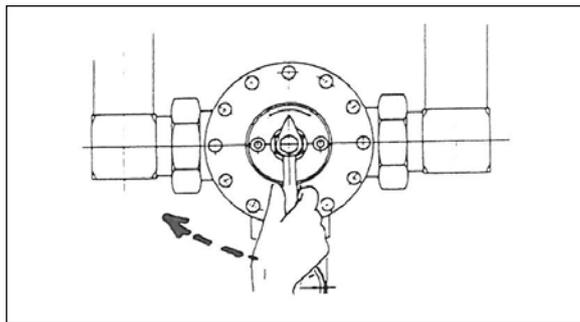
## ⑥ 最高温度設定

適温水補給ユニットは、工場出荷時に最高温度が約45℃にセットされています。もっと高い温度を必要とされている場合は、次の要領で設定をやり直して下さい。  
尚、作業は温水を出しながら行って下さい。  
最高温度が約45℃より大幅に高かったり低かったりする場合は、供給条件が使用範囲に入っていない場合がありますので再確認して下さい。

- 1) 温調ハンドルを時計方向にいっぱいに戻し、そのままの位置で円錐ナットをゆるめ、温調ハンドルをその位置で外して下さい。



2) 温調ハンドルを中央（12時）の位置でスピンドルに差し込み、円錐ナットで固定し、時計方向に少しずつ回して下さい。温度が上昇して行きます。



3) 希望する温度になれば、ハンドルが動かないようにハンドルを手で固定して円錐ナットを緩めハンドルを外して下さい。

「最高温度の設定」は、温調ハンドルを取り付ける際、カバーストップビスにハンドルが当たってそれ以上時計方向に回らない位置でセットして下さい。

（最高温度設定が低い場合や出荷時設定のままでご使用の場合は、温調ノブが中心付近で給水全開となります。この状態で温調ノブを中心付近より反時計方向に回すと温調ノブが中心に戻ることがあります。）

## ⑦ メンテナンス

適温水補給ユニットは経年によって機能が劣化します。機能劣化が認められたら放置せずにメンテナンスをして下さい。

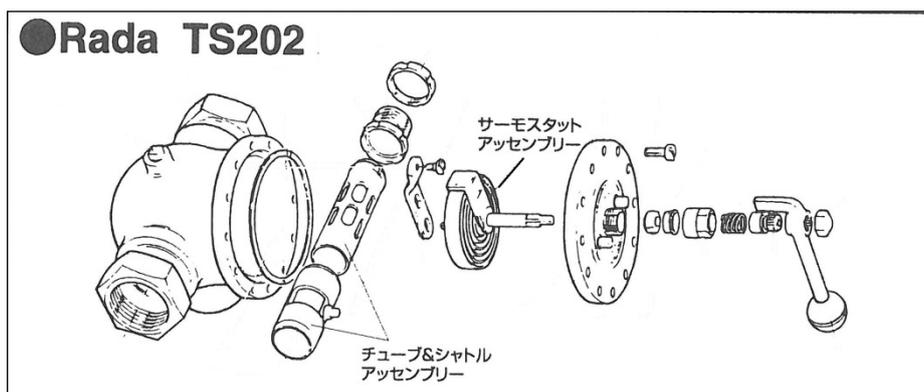
使用頻度、使用温度、使用圧力、水質等によってメンテナンスの頻度は変わりますが、パーツ交換で簡単に新品の機能を回復することが出来ます。

ユニットを設置した後も次の点に注意して下さい。

- 1、温調ノブ/ハンドル部から漏れはないか。
- 2、温水の流量が少なくなって来ていないか。
- 3、温水温度は不安定になっていないか。
- 4、温度調整が出来なくなっていないか。

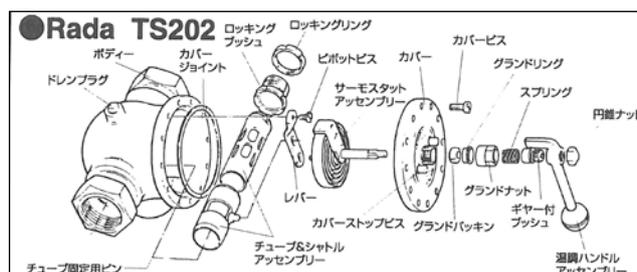
## ● ミキシングバルブ

ミキシングバルブは、チューブ&シャトルアッセンブリー並びにサーモスタットアッセンブリー（3点セット）を取り替えることによって新品の機能を回復することができます。



1) 円錐ナットをゆるめハンドル、ギヤ付ブッシュ、グランドナット、スプリング、グランドリングを外して下さい。

カバービス（12本）をゆるめてカバーを外して下さい。

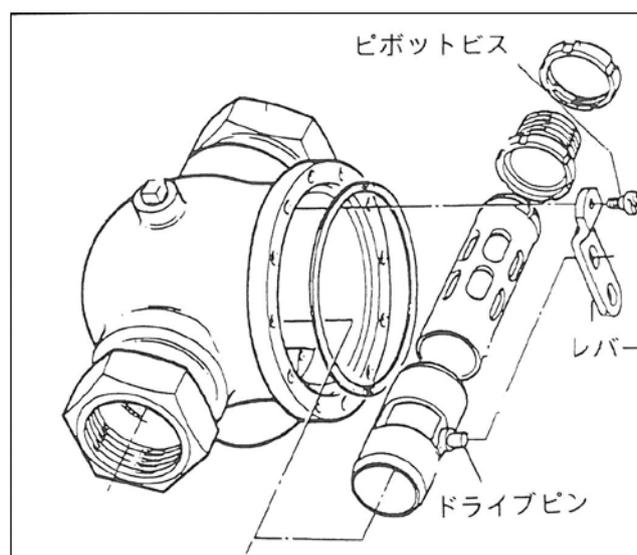


2) サーモスタットをカバーから外して下さい。その際スピンドルの先端に傷をつけないようにご注意ください。

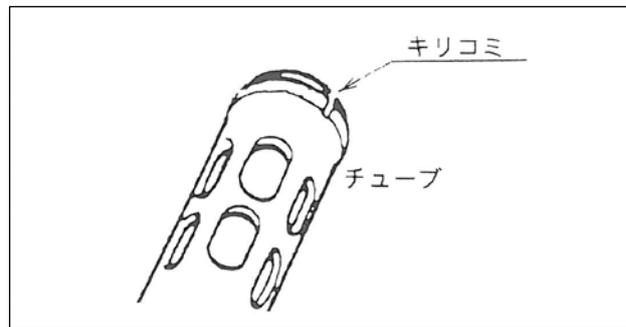
3) ピボットビスをゆるめてレバーを外して下さい。

ロッキングリングをドライバーとハンマーを使って反時計方向に回してゆるめて下さい。

引き続きロッキングブッシュを時計方向にドライバーとハンマーを使いねじ込んで下さい。

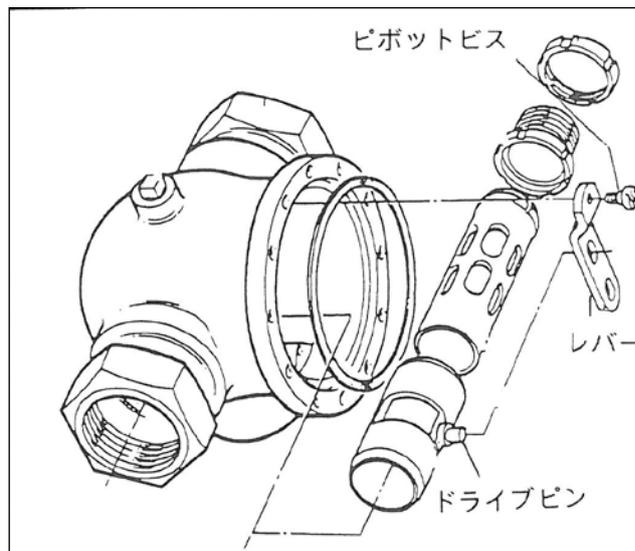


4) 新しいチューブ&シャトルアッセンブリーをチューブ先端のキリコミを本体に打ち込まれたチューブ固定用ピンにしっかりと差し込んで下さい。



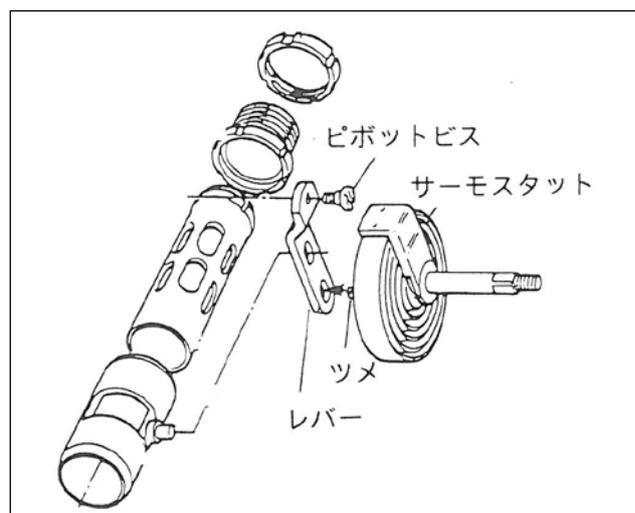
5) チューブのもう一方の端をロックングブッシュに差し込み、チューブがしっかりと固定する所までロックングブッシュを反時計方向にねじ戻して下さい。

引続きロックングリングを本体側にいっぱいねじ込んで下さい。



6) シャトルの中央にあるドライブピンをレバーの真ん中に入れてピボットビスをボディーのネジ穴にしっかりと締め込んでレバーを取付けて下さい。

7) 新しいサーモスタットをカバーに差し込み、グランドパッキン、グランドリング、スプリング、グランドナットを取り付けて下さい。



8) 新しいカバーパッキンに交換し、カバーを本体に取付けますがその際にサーモスタットのツメがレバーの穴(ピボットビスと反対側の穴)にはまるように注意して下さい。

9) カバービス (12本) を均等にしっかりと締め付けて下さい。

10) 最後に温水を流しながら必要温度が得られるように「⑥最高温度設定」の要領で温度設定を行って下さい。

## ⑧ 部品表

